



# オータムフェスティバル特集

10月18日の日曜日「オータムフェスティバル」が水のステージとその周辺で開催されました。沢山のお客様に来ていただき、盛況の中、終了することが出来ました。各パートナーの皆さんの活躍をお知らせ致します。

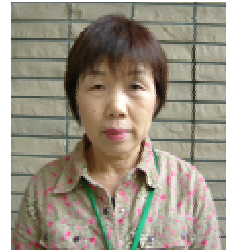
## ひたちガーデナーズ倶楽部

## 海浜植物パートナー

オータムフェスティバルに参加して

代表 稲葉清美さん

「カゴを作って花炭を飾ろう!」をタイトルに海浜公園の松ボックリで作った花炭を入れる籐のカゴ作りをお客様に体験していただきました。参加されたご家族、友達同士のグループ、ご夫妻と年齢も様々な皆さんは、カゴを編み始めこそ苦戦をしていましたが、次第にカゴの形が出来ると指の運びもスムーズになり、40分ほどで全員完成することが出来、お土産に花炭をお持ち帰りしていただきました。



完成したカゴを手にした皆さんの笑顔は素敵で、私達もその笑顔を見て、当日の青空のように爽やかな気持ちになりました。自分達の活動の内容を紹介する時間が取れなかったことは残念でしたが参加者の皆さんと一緒に作り上げた達成感を味わうことが出来た一日になりました。

スカシユリの掘り取り作業  
シャベルで丁寧に掘り起こします。

大きい!

掘ったのは寺門さんです。



スカシユリの球根掘り

副代表 菊池たゑ子さん

コキアが色づき、コスモスが咲き誇る頃は、スカシユリの球根掘りも一段と忙しくなります。圃場では晩秋から初冬にかけ球根の植え付け、蒸し暑い中の雑草取り、そして真夏の開花。一年かけた球根の成果は米粒大から、ゴルフのボール位まで、大、中、小と様々です。球根掘りの活動は、私達にとってまるで宝探しの感覚で楽しんでいます。



## ハーブパートナー

精油のデモンストレーション

ハーブティのサービス



受付



花々額作り



猛練習!編み始めが難しいのよネー



大好評!



ハーブの香り漂うブースへようこそ

代表 岡島義昭さん

ハーブパートナーの皆さんの明るい声に誘われて、千人を超える多くの方が足を運ばれ、ローズマリーの精油の香りの漂う中、“香りの谷”で育てたレモン系ハーブやエキナセアの“ハーブティ”を味わっていただきました。手作りコーナーでは、パートナーの皆さんが研修を重ね、今年初めて取り組んだ、ハーブのドライフラワーで額にお絵かきの“花々額”に、大人も子供も家族で力を合わせて腕を揮っていました。また、ポプリを袋につめて“サシェ(匂い袋)”の香りで癒されたひと時を楽しめました。

